コロナウイルス終息祈願ならびに
関連物故者追悼 法要

和の真言の祈り

令和四年 三月九日（水）十三時開演

仁和寺御門跡
瀬川大秀猊下
による ご法話

曼荼羅の響

金剛流合唱団
伊予西条公演

御詠歌

【場所】 西条市総合文化会館　愛媛県西条市神拝甲79番地4
【チケット代金】1,500円（チケット収入の一部は医療関係団体に寄付されます）
※なるべく公共交通機関にてお越しください。
<主催>真言宗御室派愛媛宗務支所 お問い合わせ ☎080-4030-1431
<共催>金剛流合唱団　<協力>高野山宗教舞踊四国司所

『和（わ）真言の祈り（しんごんのいり）』

新型コロナウイルスによる未曽有の事態は、多くの感染者・死者を出し、社会や人々に痛ましい影響を及ぼしています。

我々は、コロナ禍終息と関連物故者追善供養と人々の安寧を願い、三つの祈りを和合させて、愛媛西条の地より皆様へお届けしたく存じます。

①愛媛から初の仁和寺門跡となられた瀬川大秀大僧正によるご法話
②愛媛の真言宗御室派僧侶による祈願と追悼の法要
③金剛流合唱団による御詠歌公演「曼荼羅の響」

以上の三部構成として、高祖弘法大師空海様の祈りと我々の祈りにより、皆々様が生きる希望を持ち安寧の日々をお過ごしいただけますよう願っております。

ご来場を心よりお待ちいたしております。

真言宗御室派愛媛宗務支所 支所長
金剛流合唱団 団長
三好圓暁

安寧の祈りを

世界へ そして皆様へ

門跡（もんぜき）

門跡とは真言宗御室派の総本山仁和寺を代表する住職にあたります。

仁和寺・御室派は古来より皇室と御縁が深く、開祖は宇多天皇（寛平法皇）で、かつては皇室ゆかりの人物が門跡を務められました。そのため時代を経た現在においても、その職は特別なものとされています。

現仁和寺御門跡、瀬川大秀猊下は西条市のご出身で、その御縁からこのたび故郷の皆様に御法話をくださります。

金剛流御詠歌（こんごうりゅうごえいか）

御詠歌は、お遍路の道中や霊場札所で和歌に節をつけてお唱えした「巡礼歌」が、その発祥です。

その歌詞は、仏様を讃えたもの、仏様の教えを表したもの、ご供養のためのもの、生きることへの感謝を表したものなど様々です。仏様の世界を「音」で表現したものとも言えるでしょう。

金剛流合唱団

御詠歌を通じて仏様の教えを弘め、人々の心が安らかになることを目的に、昭和五十七年に結成された団体です。

北海道から九州までの、真言宗僧侶約百五十名が在籍しており、より多くの皆様に御詠歌に触れて頂けるよう、公演「曼荼羅の響（まんだらのおと）」を、日本国内に留まらず海外でも行っています。

西条市総合文化会館
西条市神拝甲七九-四
TEL〇八九七-五三-五五〇〇
JR西条駅から徒歩五分

※駐車場には限りがあります。乗り合わせ、公共交通機関にてお越しください。尚、図書館駐車場はご利用にならぬようお願いします。

お問い合わせは愛媛県内の御室派寺院へ